

令和3年9月7日
愛媛大学

まちなか大学トークセミナー

「コロナ禍におけるフィールド教育」を開催します

社会連携推進機構地域共創研究センターでは、「まちなか大学トークセミナー」をオンライン開催します。

地方の大学にとって、フィールドワークはアピールポイントの1つになっていますが、その一方で新型コロナウイルスの流行はフィールド教育の現場に様々な課題をつきつけています。今回の「まちなか大学トークセミナー」では、地域に飛び出すフィールド教育を実践してきた大学教員たちがコロナ禍におけるフィールドワークのあり方について語り合います。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

- 日 時 令和3年9月14日（火）18:00～20:00
- 開催方法 ZOOMによるオンライン開催
- 定 員 30名
- 参加費 無料（要事前申し込み）
- 主 催 愛媛大学地域共創研究センター
- 実施内容 詳細は別紙参照

※取材いただける場合は、事前に下記問い合わせ先までご連絡ください。

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学地域共創研究センター（まちなか大学 担当）
准教授 山口信夫（やまぐち のぶお）
Mail : yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp
TEL : 089-927-8512（愛媛大学地域共創研究センター）

※送付資料2枚（本紙を含む）

まちなか大学トークセミナー

コロナ禍におけるフィールド教育



9/14 Tue 18:00~20:00 @Zoom 開催



地方の大学にとって、フィールドワークはアピールポイントの1つになっていますが、その一方で新型コロナウイルスの流行は、フィールド教育の現場に様々な課題を突きつけています。

今回のまちなか大学では、地域に飛び出すフィールド教育を実践してきた大学教員たちがコロナ禍におけるフィールドワークのあり方について語り合います。

無料
要予約
定員 30名



笠松浩樹

KASAMATSU HIROKI

愛媛大学社会共創学部地域資源マネジメント学科。農山漁村地域において、資源の自給循環、小規模多機能自治の推進、森林・林業の推進などに取り組む、「地元学」の視点と手法を反映させたフィールドワークを展開し、学生をはじめとする外部の者の発見や驚き、地域住民との関わり等から得られる成長や自発的な学びを重視している。



島上宗子

SIMAGAMI MOTOKO

愛媛大学国際連携推進機構。東南アジア、特にインドネシアで村落自治と自然資源管理に関する研究と実践に取り組む。愛媛大学では、日本とインドネシアの学生が両国の農山漁村で学びあう「サービスマーケティング・プログラム」等を担当。主体的な学びあいの場としてのフィールドワークのあり方を模索している。



岡崎エミ

OKAZAKI EMI

東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科。海士町総合振興計画の別冊をはじめ、栃木県、栃木県益子町、同真岡市、群馬県富岡市、新潟県燕市などの住民参加型のまちづくりに関わる。現在、高校生の地域参画を推進するSCHシンポジウムや高校支援など、教育によるコミュニティデザインを研究。



矢部拓也

YABE TAKUYA

徳島大学総合科学部社会総合科学科。まちづくり実践を伴う調査研究に力を入れている。主なフィールドは徳島、滋賀県長浜、ニセコなど。徳島大学では「キャリアプラン入門」、「調査実習」などの科目を担当。20年前から滋賀県長浜市を継続的に参与観察し、NPO法人まちづくり役場の理事も務める。近年はサイクルツーリズム研究にも注力中。

YAMAGUCHI NOBUO

聞き手 山口信夫

愛媛大学社会共創学部産業マネジメント学科
／地域共創研究センター

【お申し込み】愛媛大学地域共創研究センターまちなか大学担当

✉ e-mail yamaguchi.nobuo.my@ehime-u.ac.jp (担当：山口)

参加を希望される方はタイトルに「まちなか大学 vol.1 参加希望」と明記したうえで、本文に①お名前 (SNS ネーム可)、②連絡先、③ご所属をご記入のうえ上記のアドレスまで電子メールでお申込みください (9/13 締切)。開催当日に、Zoom ミーティングの URL とパスワードをお送りします。ご不明な点についてのお問い合わせのみ、お電話でも受け付けています。

☎ 089-927-8927 (社会共創学部事務課)

CHECK!

まちなか大学
Facebook ページ
でも情報発信中!